

令和元年度 自己評価の反省（幼児）

子ども達の姿を捉え、そこから環境設定していこうと保育者に働きかけてきた。子どもを見る目を養うため記録のとり方も検討を重ねてきた。少しずつ醸成していければと思う。

保育内容では様々な行事を通して子ども達に多様な経験ができるよう保育者が意図的に誘導してきた。今後も園内外の研修に参加しながら保育の質の向上を図っていきたい。

（園長）

昨年に引き続き 2 年連続で年長児の担任をしたので、昨年のことを思い出しながら余裕をもって取り組むことができました。子どもの姿に合わせて環境設定していくことが難しく、一人一人の子をよく見てもっと観察力を付けていきたいと思います。

また、そよ風訪問等を通して地域の人と関わっていますが、他にも交流の場を持てるよう考えたいと思います。

保育者は子ども達のお手本となるよう、常に言動に気を付けていきたいと思います。(S)

本年も昨年に引き続き「主体的保育」を考えてスタートしました。環境構成の見直しを心掛け、お部屋では段ボール遊び等、子ども達がより楽しむことができるように工夫して取り組むことができました。

しかし、2 学期になり、様々な行事が入ってくる中で少しずつ収束してしまったことを反省しています。主体的保育について今後も園内での話し合いを続けていきたいと思います。

10 月より保育料無償化が始まり、保育制度も目まぐるしく変化しています。どうしてもこれまでのやり方にとらわれがちですが（特に満 3 歳児の件等）世の中の流れをとらえ対応していくことの大切さを実感しました。(M)

今年度を振り返り、反省したいことが 2 つあります。

1 つ目は、主体的な保育を積極的に取り入れることができなかったこと。どうしても保育者主導となってしまう、製作の時も保育者の考えが先に出ることが多かったです。例えば、子どもに「来月の壁面はどんなものを作りたいのか」聞き、必要な材料も子ども達と一緒に考えて進めればよかったと思います。いま、4 歳児を受け持っていて、4 歳児なら自分で考える力もついてきているので、もっと主体的な保育ができたのではないかと反省しています。

2 つ目は保護者対応についてです。

1 学期に S 君が退園してしまい、私とお母さんとのコミュニケーション不足や意思疎通ができていなかったと反省しています。

W ちゃんのお母さんとの対応に悩んだ 1 年でもありました。幼稚園での決まり事「9 時までに登園」、「門でお別れする」この 2 つができるように私もサポートしてきたのですが、

私の思いとお母さんの思いが通じず、なかなか良い方向に進めませんでした。

Wちゃんのお母さんが悩んでいるときに園長先生を含めて面談をしました。この面談をしたことでお母さんの気持ちがすっきりしたようでその後、お母さんの表情や私との関係も良くなったように感じました。連絡帳でのやり取りや登降園時に少しお話することはよくありましたが、きちんと時間を作って面談することの必要性を感じました。

まだ他にも反省すべきことがいくつかありますが、今回の反省を生かし今後の保育に繋げていきたいと思います。(M)

自己評価グラフから地域との連携がまだあまりないと感じました。年長児は関わりが多くありますが、年少児は清掃活動くらいなので、施設や自然をもう少し利用していけたらと思います。また、自分自身も地域や機関など知らないことも多いので、又しっかり調べたいと思います。

1年を振り返って「主体的保育」についてよく考えて1年だったと思います。子ども達は何をしたいのか、何を欲しがっているのか考え、提供することは難しかったです。しかし、提供してものに子ども達が興味を示し、継続的に遊ぶ姿にほっとする場面もありました。

それに伴い、子どものことを良く見れた1年でもありました。

初めての幼児の担任で最初(4月頃)は自分のことに必死で子どもの姿をよく見ていませんでした。しかし、それではいけないと思い、子どものことをよく見て接するようにしました。面白いことや可愛いことなどたくさん見ることができた1年でした。(S)

今年は初めての年長担任を受け持ちました。とても大変な1年でした。器楽合奏の指導はもちろん、行事ごとで任されることも多く、あつという間に過ぎていったと感じます。

昨年度の年長児の時とは全く異なっていました。子どもは違うけれど、年長になるとこなにもいろんなことができるんだと発見も多く、おしゃべりをしているだけでもちゃんと会話ができる面白さを感じとても楽しかったです。

また、主体的な保育のエピソード記録も毎日となると大変ではありましたが、子どもがどんな遊びをしているのか、どんな話をしているのか等、子どものことを以前よりよく見て耳も傾け、子どもの気持ちをわかろうと努力しました。今後も子どもが遊びたい遊びを援助できるような環境づくりにも配慮したいと思います。(M)

今年度から「主体的保育」ということに力を入れているので昨年度より子ども達の様子や発言、行動をよく見るようになったり、わかばっこだけではなく、掲示板に子ども達の様子を分かりやすく伝えるようにした。

子ども達の発想や思いをよく聞くようにし、一人一人の対応を変え、その子にあった状況や環境を変えて子ども達に接するように努力をした。

研修会では積極的に参加するようにしているが、分からないところをしっかりと解決で

きるまではやっていないので、積極的に聞いたり調べたりしなくてはいけないと反省した。(A)